

来週の「売り物記事」はこれ



2020年1月31日号 毎日新聞東京本社 編集編成局・販促宣伝部

雑誌の「付録」がすごい

夕刊特集ワイド 4日(火)



今や園児や小学生向けでなくても、雑誌に付録がついているのは当たり前の時代とされています。中でも女性ファッション誌の付録の豪華さには目を見張るばかりで、出版不況といわれる中、付録の人気が雑誌の販売部数をも左右するといわれます。もはや雑誌の付録なのか、雑誌が付録なのかというレベルです。女性ファッション誌編集長らが付録つき雑誌製作の舞台裏などを語ります。

花粉症で肌荒れ

くらしナビ面 4日(火)

花粉症に悩まされる季節がやってきます。実は花粉は、鼻炎や目のかゆみだけでなく、肌のかゆみや湿疹などの皮膚炎を引き起こすことがあります。有効な対策は「肌の保湿」。洗顔のせっけんは刺激の少ない製品を▽化粧水はたっぷりの量を包み込むように優しく▽男性のひげそりは電気シェーバーよりカミソリがお勧め——といったケアのコツを、専門家に教えてもらいます。



急がれる自殺未遂者のケア

社会保障面 5日(水)

2019年の国内の自殺者数は10年連続で減少し、速報値で1万9959人と初めて2万人を下回りました。ですが、依然深刻なのが未遂歴のある人の自殺です。18年の統計では、自ら命を絶った男性の約15%、女性の約30%に未遂歴がありました。医療機関やNPOなどと連携して、複合的な原因を抱える当事者の支援を進めている東京都荒川区などの取り組みを追います。

神経疼痛薬 どこまで効くの？

くらしナビ面 5日(水)から

効果を期待して使っても実感できない。それどころか思わぬ副作用で重大事態に陥る恐れも——。薬を服用したことのある人なら、こんな経験を一度はしたことがあるのではないのでしょうか。不適切な医療を改善し、確かな医療へとつなげる連載「賢い選択」の新シリーズでは、誰もが気になる薬の効果などについて5回にわたって紹介します。初回は神経の痛みにも効くとされる薬の素性に迫ります。

環境に配慮したプラスチックって？

くらしナビ面 5日（水）



石油などから作られるプラスチックは軽くて丈夫な便利な素材ですが、捨てられて海などに流出すると深刻な汚染をもたらすほか、ごみになって燃やせば温室効果ガスの二酸化炭素が増えてしまいます。こうした環境問題の解決に向け、自然界の微生物の働きで分解される「生分解性プラスチック」や、植物を原料にした「バイオマスプラ」の開発が進んでいます。どんな素材なのでしょう。なるほドリの疑問に記者が答えます。

米大統領一般教書演説

1面など 6日（木）

トランプ米大統領が4日、連邦議会に施政方針を示す一般教書演説を行います。2017年1月に大統領に就任したトランプ氏にとっては1期目最後の施政表明の場です。3日には中西部アイオワ州で野党・民主党の候補指名争いがスタート。大統領選が本格化する中、今回の演説は、11月3日の本戦で再選を目指すトランプ氏による事実上の選挙公約の発表といえます。

論点「安倍政権7年」への道

オピニオン面 6日（木）

安倍晋三政権が、昨年末、第2次内閣発足から7年を迎えました。1990年前半からの政治改革の末に、有権者は安倍1強という「安定」を選び続けています。政治改革とは、結局なんだったのでしょうか。改革論議の旗振り役を務めた佐々木毅・元東京大学長に、現状と、今に至る軌跡を読み解いていただきます。



東京パラリンピック開幕まで200日

運動面など 7日（金）

東京パラリンピックは7日で開幕まで200日。539種目に史上最多の4400人が参加する見込みです。多くの選手が晴れ舞台を目指していますが、トライアスロン女子（運動機能障害）の谷真海（まみ）選手もその一人です。2013年の国際オリンピック委員会総会のスピーチで東京大会招致に貢献し、陸上の走り幅跳びで過去3大会出場の谷選手の思いを伝えます。



※ 都合によっては掲載日や内容を変更することがあります。